

アカネ属の珍客二種来訪

東 輝弥

高砂市内の我が家の庭に、最近ほとんど見かけなくなったノシメトンボと高砂市では未記録のヒメアカネが訪れたため報告する。

ノシメトンボ *Sympetrum infuscatum* (写真 1)

1 ♀, 高砂市, 2023 年 10 月 18 日.

11 時頃、庭の梅の枯れ枝の先にトンボが止まっていた。撮影しようと近寄りすぎて逃げられてしまったが、撮影できた写真を拡大してみると本種であった。

ヒメアカネ *Sympetrum parvulum* (写真 2)

1 ♂, 高砂市, 2023 年 10 月 18 日; 1 ♀, 高砂市, 2024 年 11 月 14 日.

ノシメトンボを撮影した同日の 13 時過ぎに、ナンテンの葉の上に止まる本種を撮影した。また翌年も続けて我が家の庭に飛来した。

その他にも、我が家にはトンボが餌場として訪れてくれる。初夏からアジアイトトンボ、アオモンイトトンボに始まりシオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ギンヤンマ等が訪れ、秋にはオオアイトトンボ、ナツアカネ、アキアカネ、リスアカネが時々顔を覗かせてくれる。

またウスバキトンボは 5 月から 10 月半ば過ぎまで飛んでいる。

2024 年 11 月 13 日には、自宅にナツアカネ 1 ♂, アキアカネ 3 ♂, 隣の畑にナツアカネ 1 ♀, アキアカネ 6 ♂ 1 ♀が訪れた。最近アカネ属の減少が言われている中、住宅街の一角に複数頭がまとまって飛来することはうれしいことであるが、どうしてこの場所を見つけるのかが疑問である。

○参考文献

東 輝弥, 2010. 兵庫のトンボ分布目録. *Sympetrum Hyogo*, 12: 1-113.

尾園 暁・川島逸郎・二橋 亮, 2012. 日本のトンボ. 文一総合出版.

関西トンボ談話会, 1976. 近畿地方のトンボ第 3 部 トンボ科. 大阪市立自然史博物館収蔵資料目録第 8 集. 大阪市立自然史博物館

関西トンボ談話会編, 2006. 近畿のトンボ データ編. 関西トンボ談話会.

近畿のトンボ編集委員会, 1984. 近畿のトンボ. 関西トンボ談話会.

杉村光俊・吉田一夫・山本哲央・大浜祥治, 2023. 四国・中国・近畿のトンボでわかる快適環境. いかだ社.

(Teruya AZUMA 兵庫県高砂市)



写真 1 自宅に来たノシメトンボ.



写真 2 自宅に来たヒメアカネ.